

二戸市総合計画（案）の概要

二戸市総合計画策定の趣旨

市民が主体となり元気で生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、現在の総合計画を検証し、およそ 30 年後の本市の目指すべき将来像を描き、平成 28 年度を初年度とし 10 年間の行政運営の基本的方向性や政策を示す。

I みんなの夢(30年後の未来像)

人が輝き 未来をひらくまち 「にのへ」

説明

まちを創り、育て、伝える “人”
その「人」が「輝き」
国の、世界の「未来をひらく」まち「にのへ」

人口減少は避けられない
まちの魅力も活力もなくなっていくかもしれない
市の予算も少なくなって施設整備にも時間がかかる

それでも、自分の子供や孫に
誇りや希望の持てるにのへを伝えたい

【まちのイメージ】

魅力を活かし未来に挑戦できるまち
誇りや生きがいを感じ心豊かに暮らせるまち
安心して暮らせる住んで良かったと実感できるまち

II 基本構想(H28~H37)

みんなの目標:「みんなの夢」を実現するための市民と行政の行動目標
挑戦します！ 次代へ紡ぐ ふるさとづくり
(次の世代へ、様々なものを紡ぎ一つにしながら、ふるさとづくりに挑戦する)

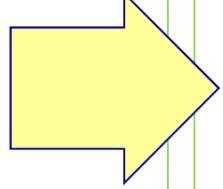
目指す姿:この10年間でどんなまちづくりを目指すのか
「人づくり」と「市民協働」に取り組み
先人が培った「にのへ」を次世代へ引き継ぐための基盤をつくる
・人が育ち暮らしを支えるまち
・協働で暮らしやすさを実現するまち

4本の柱:この計画で取り組む政策の柱

- ・しごとをつくる
- ・子育てを支える
- ・暮らしを守る
- ・まちをつくる

※人口減少の視点(再掲)

- 1 人口減少に歯止めをかける
- 2 人口減少に対応する



政策の体系:まちづくりを進めるための政策

【政策1】しごと・産業・交流
地域特性を活かし豊かで活力に満ちた産業のまちづくり
⇒ 産業振興、雇用創出、所得向上 など

【政策2】子ども・若者・女性
若者・女性がいきいき輝き子どもの声があふれるまちづくり
⇒ 子育て支援、女性の活躍、学力向上 など

【政策3】暮らし・安心・健康
健康で安心できる暮らしで笑顔がいっぱいのまちづくり
⇒ 健康推進、福祉増進、文化・スポーツ振興 など

【政策を支える土台・原動力】地域の力、行政の力、市民協働
みんなの力で満足度・幸福度が高い協働のまちづくり
⇒ 市民協働の推進、人づくりの推進、インフラ整備の推進 など

III 前期基本計画の概要(H28~H32)

【政策1】しごと・産業・交流

- 方向性
 - ・付加価値の向上、多様な連携による産業振興と雇用創出
 - ・経済と人の流れの好循環による地域経済の活性化
- 特色を生かした取り組み
 - うるし:伝統と文化、産業と観光をつなぐ世界一の漆(japan)の郷の創造
⇒全国の産地や文化財を有する観光地と連携し、生漆増産に向けた原木の確保や後継者の育成に取り組むとともに、世界に誇る漆(Japan)文化の発信と産業振興を進め漆関連産業の振興を図る。
- 主な取り組み
 - ・漆芸科等のある大学等との交流を進め、市内外からの人材の確保と育成・定着を図る。
 - ・漆に関連した地域と連携し、観光・交流の推進を図るとともに、ユネスコ文化遺産登録を目指す。
 - ・漆林や資料館、「滴生舎」をつなぎ、まちごと漆の総合ミュージアム化を目指す。

【政策3】暮らし・安心・健康

- 方向性
 - ・低年齢からの予防啓発や高齢者の生きがいづくりによる健康寿命の延伸
 - ・スポーツ、文化を通じた地域や世代を超えた多種多様な交流の創出
- 特色を生かした取り組み
 - 芸術文化・スポーツ:豊かな心と健康な体を育む 芸術文化・スポーツのまち
⇒芸術・文化・スポーツによる、若者や子育て世代の地域内外との交流促進と健康な体づくりの推進を図る。
- 主な取り組み
 - ・地域内外、世代間の交流促進の視点から、既存施設やカーリング場などの施設について検討を進める。
 - ・住民が主体的に取り組む新たな地域文化創出に向けた取り組みを支援する。
 - ・多くの市民が生涯にわたって自主的にスポーツに親しむ取り組みを進める。

【政策2】子ども・若者・女性

- 方向性
 - ・子育ての経済的、精神的不安の低減
 - ・「生きる力」を育む教育、郷土の魅力を伝え郷土を愛する教育の推進
 - ・世界で活躍する人材育成の推進
- 特色を生かした取り組み
 - 子育て:子どもがいる幸せ 安心と喜びを感じる子育て
⇒地域全体で子育て支援体制の充実を図るとともに、子育てに対する経済的な負担感や精神的な不安感の解消を図る。
- 主な取り組み
 - ・子育て支援の充実を図り負担感の軽減に努める。
 - ・気軽に交流できる場を提供するとともに、相談体制の充実を努め、不安感や孤立感の解消を図る。

【政策を支える土台・原動力】地域力・行政力・協働

- 方向性
 - ・あらゆる分野で未来に向けた人づくりを推進
 - ・行政資源の効果的な活用と市民参加の推進
 - ・市民生活に身近な社会基盤の計画的な促進
- 主な取り組み
 - 市民提案:一緒に集まり、話し合い、取り組む 市民のまちづくり
⇒誰でも参加でき、意見を出し合いながらまとめ上げる市民提案型のまちづくりを進める。
- 主な取り組み
 - ・多くの人たち、まちの現状を共有し課題解決に向けた方法を考える機会を創出する。
 - ・市民が積極的に提案し、協働により実現に向けて取り組む市民提案型のまちづくりを進める。